

第5回 生きる力を育む 書道作品展 ～希会(のぞみかい)～

第5回 生きる力を育む 書道作品展
～希(のぞみ)会～

入場 無料

今回の作品展は、
“厳しい冬の試練を乗り越え、
暖かな春の到来を希(ねが)う”
それぞれの思いを込めて書きました

雪の降る街を 雪の降る街を
思い出だけが通り過ぎてゆく
遠い国から落ちてくる
この思い出をいつの日かつまん
暖かき幸せの微笑み

『希会』は身体に障害を持つ人やその家族が、書道を通して 生きる喜び、生きる感動を分かち合いたいという願いから発足し、毎月のお稽古に励んでいます

『尼崎市自発的活動支援事業』対象事業



希会とは



【 設 立 】 令和元年

【会員数】 16人

【 目 的 】 心身に障害を持つ者およびその家族、また一般市民同士の情報交換や自己の成長と思いやりの活動の推進。

【 事 業 】

- ・月1回の例会(お習字の学習と親睦会)
- ・年1回の総会
- ・年1回の書道作品展の開催 など

「第5回 生きる力を育む 書道作品展」について

【内容】 毎月の書道作品及び今回の作品展テーマに合わせた全員寄せ書きの作品の展示発表

【日程】 令和4年 12月15日(木)～12月19日(月)

【場所】 尼崎市総合文化センター ギャラリーアルカニック

【広報】 案内はがき、チラシ、総合文化センターのHPなど

【対象者】 障害者、その家族、市民

【参加者数】 延べ181人

(うち、障害者51人、その家族33人、地域住民等97人)

「第5回 生きる力を育む 書道作品展」について

【実施目的】

一人一人が心を込めて仕上げた作品発表を通じ誰もが生きる喜びや感動を分かち合えることです。



【今回の作品展テーマ】

“厳しい冬の試練を乗り越え、平和で暖かな春の到来を希(ねが)う”とし、「雪の降る街を」の詩を皆で寄書きしました。



「第5回 生きる力を育む 書道作品展」について

【効果】

コロナ禍の中で、多くの障害者、家族、一般市民に向けて障害の有無、年齢性別に関わらず、幅広く活動の趣旨の理解を深め、社会に啓発寄与する効果が得られました。

